

## 豪雨により被災した整備工場の機器の安全確認について

このたびの大雨・豪雨災害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。  
被災されたお得意様におかれましては、復旧に向け大変なご苦勞をされていることと存じます。

事業を再開するにあたっては、十分な安全確保を行い、二次災害の防止のためには整備機器の点検が重要となります。

万が一、水没している、もしくは水没した形跡のある整備機器を点検せずに使用された場合は、感電や火災など発生の恐れもあります。点検対応や整備機器についてのご相談、お困りごとがございましたらお気軽にお申し付け下さいますようお願いいたします。

なお、被害のなかった地域の皆様におかれましても、この機会に安全確認の取り組みの一環としてご確認いただけましたら幸いに存じます。

### 記

◎被災された整備工場における整備機器の使用に際しては、以下の内容について十分注意し安全確認のための点検を必ず実施することが重要となります。

#### 1. 被災を確認し、はじめて使用する場合

- ・まずはじめに電源、エアーなどの動力を投入する前に、十分な換気が行われているか、また、機器の外観に異常がないかを確認する。
- ・設置機器等のどの位置まで浸水（泥水等の痕跡で判断）したか確認を行う。

#### 《機器の外観点検》

- ・本体の破損、変形、歪、溶接箇所の割れ、特に天井から吊っているもの（リール、指示計等）は、吊り部材の変形・亀裂、など異常がないか確認する。
- ・油圧、作動油を使用している機器は、油漏れが発生していないか確認する。
- ・アンカボルトで固定している機器は、アンカボルトの緩みがないか確認する。
- ・床上に設置している機器は、機器の傾きが発生していないか確認する。
- ・土間に設置の機器は、土間のひび割れ、機器の浮き上がり（又は沈み込み）土間と機器との隙間などが発生していないか確認する。
- ・手動で動かせる部分は、手動で動かし、スムーズに動くか、異音がないかを確認する。  
ただし、自動式前照灯試験機の場合は、無理に動かさず、購入販売店に連絡する。

※万一、異常が発見された場合は、機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用は中止してください。

## 2. 電気を使用する機器について

- ・はじめにメインブレーカ（又はコンセント）がOFFになっている事を確認し、次いで電源ケーブルの破れ、断線、コネクタの緩み等がないことを確認する。
- ・機器の電気装置や部品に浸水（泥水等の痕跡で判断）がないことを確認する。

※万一、浸水（泥水等の痕跡で判断）があった場合には、漏電による感電災害の可能性があるので絶対に電源を ONしないで下さい。機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用は中止する。

## 3. エアーを使用する機器について

- ・エアー配管、エアーホース、コネクタ部に損傷が生じていることも考えられるので、エアー圧力を下げて供給し、徐々に規定圧力まで上げる。（もしくは、バルブを全開にせず、徐々に開く。）

※万一、各部からエアーが漏れる音がする。もしくは、規定圧力まで上がらないなどの異常が確認された場合は、直ちにエアーの供給を停止する。機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用は中止する。

## 4. 各機器の始業点検の実施

- ・各機器の取扱説明書に記載された始業点検方法により始業点検を実施し、異常がないことを確認してから機器の使用をお願いします。

※万一、異常が発見された場合は、機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用は中止してください。

（注意）そのまま使用すると機器の破損及び重大な事故に繋がる危険性がある。

## 5. リフト機器の安全点検実施について

- ・リフト機器は車両の落下事故などの危険があるため、車両を上げる前に必ず次の安全点検を実施願います。

### 《安全点検項目》

- ・柱式リフト、パンタ式リフトなど床面又はピット底面にアンカで固定した機器はアンカに緩み発生がないかを確認する。
- ・床面埋設式リフトは、埋設配管の破損や内部でオイル漏れの発生がないか確認する。
- ・浸水した可能性のある場合は、必ずオイルの状態を確認する。水の混入、乳化等。
- ・電源やエアー源の異常がないことを確認した後、リフトを無負荷で上昇させ、異音や振動がないか、また、手で揺らしてみてもガタがないか、加えて最上位まで上昇するか、さらに自然降下がないかを確認する。
- ・その他、リフトの取扱説明書に記載された安全点検項目や添付の点検表等を参考に安全点検を実施する。

※万一、異常が発見された場合は、機器購入販売店に連絡し、異常箇所の修復が完了するまで、機器の使用を中止してください。

6. 精度を有する測定機器について：トルクレンチ・タイヤエアゲージなど

- ・測定機器の浸水等により、内部ギヤに砂や小石の混入、錆付き、作動力低下により精度が低下している恐れがあります。浸水の疑いのあるものは使用せずに精度点検を受けてください。

7. 停電への備え

- ・電気を使用している機器については、機器使用後、必ず電源をOFFにし、ブレーカを遮断（又は、コンセントを抜く）する。

※万一、機器使用中に停電になった場合も、通電再開時に機器が勝手に作動しないよう、必ず機器の電源をOFFにし、ブレーカも遮断（又は、コンセントを抜く）する。

上記についてご確認の上、ご使用頂きますようお願いいたします。

さらに継続して安心してご使用頂くために、定期点検とは別に機器購入販売店へ機器の総合点検を早いタイミングでご依頼ください。

また、整備機器についての対応窓口はお近くの各支店・営業所にて対応させていただきます。

被災された皆様の救済と復興支援に最大限取り組んで参りたいと考えております。

皆様の安全と被災地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

以上

## < ご相談、お問合せ窓口 >

|            |          |                  |
|------------|----------|------------------|
| 千葉県のお得意様   | 千葉営業所    | TEL 043-241-5828 |
| 埼玉県のお得意様   | 埼玉営業所    | TEL 048-783-3071 |
| 茨城県のお得意様   | 水戸営業所    | TEL 029-241-1478 |
| その他地域のお得意様 | 関東支店     | TEL 048-590-3700 |
|            | 本社 サービス部 | TEL 03-3769-6886 |